

# 式の値

## 式の値を求める

(1) 文字式を、省略された×や÷を使った式で表し、文字に数を代入して、計算することを「式の値を求める」という。

(2) 負の数を代入するときは、必ず( )をつけて代入する。

[例題]  $x = -2$  のとき、次の式の値を求めなさい。

①  $3x + 1$

②  $x^3 - 3x$

(解)  $3 \times (-2) + 1 = -6 + 1$   
 $= -5$

$(-2)^3 - 3 \times (-2) = -8 + 6$   
 $= -2$

【1】  $x = 2$  のとき、次の式の値を求めなさい。

①  $-x$

②  $4x - 5$

③  $x^2$

④  $-3x^2$

⑤  $3x^2 - 5x + 1$

⑥  $x^3 + 3x - 12$

【2】  $x = -3$  のとき、次の式の値を求めなさい。

①  $5x + 6$

②  $10 - 3x$

③  $(-x)^2$

④  $-x^3$

⑤  $x^2 - 2x + 8$

⑥  $x^3 + 2x^2 - 1$

## 式の値

【3】  $x = 0.2$  のとき、次の式の値を求めなさい。

①  $-5x$

②  $x^2$

③  $-\frac{10}{x}$

④  $(-x)^3$

⑤  $-x^2 + 2x$

⑥  $x^3 + 3x^2$

【4】  $x = -\frac{2}{3}$  のとき、次の式の値を求めなさい。

①  $3x - 2$

②  $12 - 3x$

③  $-x^2$

④  $9x^2 + 6x$

⑤  $x^2 - x$

⑥  $\frac{x}{4}$